『人のために学び続ける』

枚方消防署　警備課渚出張所　救急担当　消防士長　谷本（たにもと）　浩将（ひろまさ）(33)

《業務内容》

私が勤務している救急隊では、病気や事故・火災等で発生した傷病者のもとに駆けつけて、症状や怪我の程度を観察し適切な医療機関に搬送するのが業務です。勤務が始まると、まずは積載している器材や道具を点検し、いつでも出動できるように整えます。消防では自分達が使う器材や道具を非常に大切にします。何故なら人を助ける矛であり、自分達を守る盾でもあるからです。

救急隊の出動は本消防組合全体を通して１日100 件を超えます。忙しい時は出動が続き、一日中出張所に戻れないこともあります。出動から戻れば、報告書作成などの事務作業も行います。そのような中でも合間を見つけて訓練や勉強をしています。また、休憩時間などは隊員間のコミュニケーションを図り、オンとオフを切り替えるようにしています。

《仕事に対するやりがい》

救急隊の活動では、傷病者の身体の中はどのような状態にあるのか、生命の危機に瀕しているのかいないのか、迅速正確に見極め判断し、それを 24 時間いつでも同じ質を保ちながら活動しなければなりません。一つ一つの現場が勉強であり、出動がないときも教科書を見て勉強したり、訓練したりと、学びの連続です。大変な仕事ではありますが、重症度に関わらず、市民から感謝されることも多く、市民に一番近い「救急」という仕事をしていて良かったと感じます。救急現場には必ず傷病者という相手がいます。自分の努力が結果として返ってくる仕事だと思います。そこにやりがいを感じています。

今後も市民の信頼に応えられるような救急隊員になれるように、日々学び続けていきたいと思います。